

平成20年9月16日

貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
国立環境研究所

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年9月9日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

貧酸素水塊は、内湾北部のほぼ全域及び南部の神奈川寄りに分布しており、DO0.5ml/L以下というほぼ無酸素水は依然として広範囲に認められました。一方、南部の千葉側地先から中ノ瀬に貧酸素水塊は認められませんでした。今後、南部海域では、短期的に貧酸素水塊が分布することはあるものの、長期間にわたり滞留する可能性は低いものと考えられます。

北部海域は、風向き次第では貧酸素水塊の湧昇・青潮が発生する状況になっています。今後も引き続き風向きに注意が必要です。

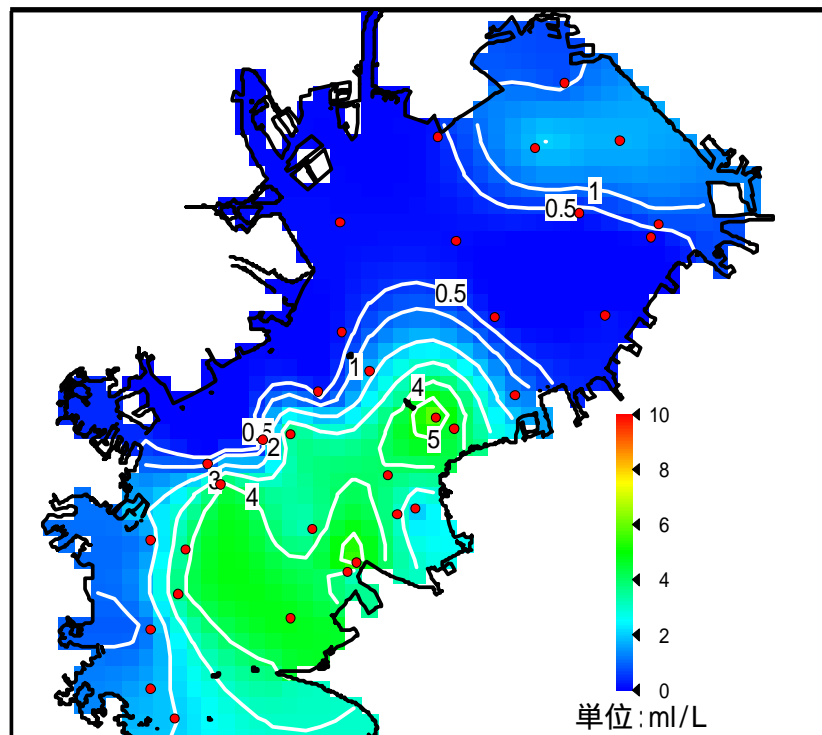


図1 底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	